

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な予算編成の実施		目標年度	指標の設定理由				
	数値	—			H26	計画的で健全な財政運営を図る上での根幹であるため			
活動指標	指標	a	経常収支比率	b	市債現在高	c	計画的な基金積立(利子分除く、財政調整基金及び減債基金)	d	
	数値	目標	前年度以下	目標	前年度以下	目標	毎年5億円以上	目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
適正な予算編成の実施		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 経常収支比率	%	95.3 %	91.3 %	88.8 %
		102.2 %	104.4 %	102.8 %
b 市債現在高	億円	339.7 億円	316.8 億円	300.4 億円
		104.5 %	107.2 %	105.5 %
c 計画的な基金積立	億円	0.0 億円	7.6 億円	11.4 億円
		— %	152.0 %	228.0 %
d				

4. 課題と対応

課題
歳入の4割以上を占める地方交付税が、合併後10年間は特例措置があるものの、その後5年間で段階的に減額されていく。自主財源の乏しい本市は、歳入減少という大きな課題がある上、多様化する住民ニーズへの対応から、経費も増大していくことが予想される
対応(改善点等)
効率的・効果的な予算を組み立てるとともに、経常一般財源の削減及び行政経費の抑制を図る

5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

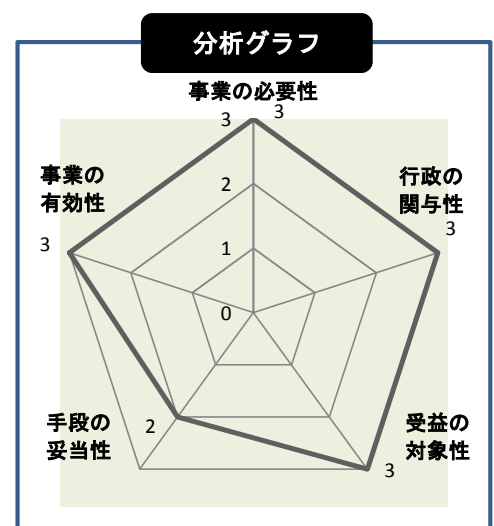
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		1,682,534	804,560	559,847	59,026
うち経常経費		5,308	5,104	1,532	339
財源内訳	国費			8,000	
	県費				
	市債	807,500			
	その他	23,826	39,456	35,315	58,687
	一般財源	851,208	765,104	516,532	339
うち経常		5,308	5,104	1,532	339
事業費に係る人件費		16,980	17,066	17,519	25,800

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
第2期集中改革プランに掲げる5年間25億円の積立金の確保及び削減計画に向けた適正な予算編成を行うため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠	
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	今後も厳しい財政運営を迫られる中で、中長期的な財政見通しを行うとともに、限られた予算を効果的・効率的に配分していかなければならないため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	市の職員が行革のリーダーとしての自覚を持ち、現状と課題の共通認識を持った上で予算編成に取り組む必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	市全体に関わることであるため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2	適切な財政分析、事務事業評価を行っていくとともに、その上に立った予算編成システムの構築を図っていく必要がある
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	目標に対する達成率も高く、有効性は高いと思われる



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	行政改革集中改革プランに則り、引き続き健全な財政運営に努めること